

[調査会NEWS 623] (20. 4. 30)

#### ■新ポスター完成

すでにお知らせしておりましたが、新しいポスター（No. 10）が本日刷り上がりました。今回のポスターは従来のもより一回り大きく（A1）になっており、また掲載されている顔写真は調査会に1枚しか写真のない方以外はすべて差し替えました（約7割）。これは写真の写り方によって人間の印象は大きく異なるため、今後脱北者などから目撃情報を得るときに、より正確な情報とすることを目的としたものです。ご覧いただければ分かりますが、同じ人でも写真によって別人のように見えることがあります。

このポスターは従来と同様1枚100円（送料調査会負担）でお送りします。ご活用下さい。

#### ■調査会役員の参加する講演会等の予定

（公開の拉致問題に関するイベントのみ。救う会・家族会の役員と兼任の役員が参加する場合もありますが、調査会の役員として出席する場合のみ記載してあります）。

★5月11日（日）14:00～拉致問題教育講演会（救う会大分主催）

- 大分市・大分コンパルホール（097-538-3700）
- 代表荒木が参加
- 問い合わせ：伊藤田雄三代表（097-534-0010）

★5月17日（土）14:00～「中村三奈子さんをさがす会」集会（同会主催）

- 川崎コミュニティーセンター 電話0258-35-3935  
新潟県長岡市川崎6丁目
- 専務理事真鍋が参加
- 問い合わせ：中村クニさん（三奈子さんのお母さん 090-4543-0597）

★6月8日（日）13:00～特定失踪者問題を考える市民集会（同集会実行委員会主催）

※当初予定は15日でしたが1週間早まりました。

- 稚内市・稚内総合文化センター
- 専務理事真鍋が参加



発行責任者 荒木和博（送信を希望されない方、宛先の変更は  
kumoha351@nifty.com 宛メールをお送り下さい）

●資金カンパのご協力をよろしくお願いします。

郵便振替口座 00160-9-583587 口座名義：特定失踪者問題調査会

銀行口座 三菱東京UFJ銀行 鷹の台出張所 普通預 3810752

口座名義：特定失踪者問題調査会 専務理事 真鍋貞樹

（銀行口座をご利用で領収書のご入用な場合はメールないしFAXにてご連絡願います）

MMMMMMMMMMMMMMMMMMMMMMMMMMMMMMMMMMMMMMMMMMMMMMMMMMMMMMMMMMMM

[調査会NEWS 622] (20. 4. 25)

以下、本日の記者会見での発表内容についてお知らせします。なお、会見の様子は15:00からインターネットで録画中継します。(株)NetLiveのホームページでご覧下さい。

<http://www.netlive.ne.jp/>

\_0番台 新規公開リスト (第37次発表)

失踪者氏名 紙谷慶五郎 (かみや けいごろう)

性別 男

生年月日 明治45年(1912年)3月5日

失踪年月日 昭和43年(1968年)11月7日

当時の年齢 56歳 父親

当時の身分 漁業

失踪者氏名 紙谷圭剛 (かみや けいご)

性別 男

生年月日 昭和16年(1941年)3月20日

失踪年月日 昭和43年(1968年)11月7日

当時の年齢 27歳 長男

当時の身分 漁業

失踪者氏名 紙谷礼人 (かみや のりひと)

性別 男

生年月日 昭和23年（1948年）4月11日

失踪年月日 昭和43年（1968年）11月7日

当時の年齢 20歳 次男

当時の身分 漁業

失踪者氏名 紙谷速水（かみや はやみ）

性別 男

生年月日 昭和26年（1951年）1月9日

失踪年月日 昭和43年（1968年）11月7日

当時の年齢 17歳 三男

当時の身分 漁業

#### 失踪場所

北海道雄武町元稲府（おうむちょう もといねっぷ）北岸港から7キロ付近

#### 失踪の経過

父親の所有する漁船「圭運丸」（6トン）に息子の3人がともに乗船し、当日午前6時頃に北海道雄武町元稲府北岸港を出港し、港から7キロ付近にてイカ底建て網漁を操業。帰港する他の僚船とすれ違って漁場に出て遭難。

遭難当時はベタなぎだったが、潮の流れが速く、他の僚船は操業を中止していた。

そのため、遭難現場を目撃した人物はおらず、付近に他の船が存在したかどうかも確認されていない。

船体は、遭難付近の海底にて発見されたものの、引き上げ作業に失敗した。船の油や残留品などが海面で発見された後に、雄武町付近の海岸でも発見された。

乗組員4人の遺体は発見されないまま、捜査は打ち切られた。

父親の慶五郎は、町議（社会党）、雄武漁協理事などを歴任。雄武町での朝鮮人差別問題にも取り組んでいた。

長男の圭剛は、独学で乙一種航海士の資格を取得し、外航船に勤務していた後、雄武町に戻って漁業を始めた最中だった。

次男の礼人と三男の速水は、学校を休学して、漁業に従事していた。

#### 他の失踪との類似性と関係性

1963年5月11日の「寺越事件」と類似している。

1967年10月には、常呂町にて、岡田優子さんが失踪。

1968年11月には、常呂町にて、サケ定置網漁船が転覆。乗務員13名が行方不明。

1968年12月には、稚内市で斉藤裕さんが失踪。網走市で国井えり子さんが失踪。

父親の慶五郎は、渡辺秀子さんが1961年に勤めていた雄武町の割烹「日の出」に出入りしていた。

#### \_JSRしおかぜ ー猫の目作戦状況報告ー

北朝鮮向け短波放送「しおかぜ」は3月30日夜より新周波数へと切り替わり、同時に複数周波数による妨害電波対策（猫の目作戦）を開始することは、前回もお知らせした通りです。4月4日朝の放送へ、早速北朝鮮から妨害電波が発射されたことを受け、猫の目作戦を開始しました。以下状況報告です。

3月31日朝、6045 kHz放送開始

4月 4日朝、6045 kHzへ北朝鮮より妨害電波発射確認

4月 9日朝、5965 kHzへ周波数変更

4月15日朝、5965 kHzへ北朝鮮より妨害電波発射確認

4月18日朝、6045 kHzへ周波数変更

4月23日朝、6045 kHzへ北朝鮮より妨害電波発射確認

3月30日夜、6020 kHz放送開始

4月 4日夜、6020 kHzへ北朝鮮より妨害電波発射確認

4月30日夜、6005 kHzへ周波数変更

妨害電波確認は、全国のリスナーからの受信報告及び総務省の電波監視部門からの情報提供

これまでは朝中心に作戦を行ってきましたが、結果として北朝鮮側の妨害発射も周波数変更

から5～6日目と過去の妨害開始時期よりも確実に短縮され、その対応の必死さがより理解出来、しおかせの効果の大きさのあらわれと判断できます。また、周波数変更後は妨害電波からは確実に逃れることになり、北朝鮮近隣地域（韓国ソウル他）では非常にクリアに受信出来ることが確認されています。北朝鮮への攪乱も含め、作戦としては有効であることが証明され、成功したと言えるでしょう。さらにこれからの季節は伝搬状況が確実に良くなる方向へ向かうので、妨害をはね除ける強力な電波状態が期待出来ます。それらを踏まえて今後も猫の目作戦は続け、拉致被害者並びに放送目的対象者の皆さんへ、より聴きやすい環境で放送を続けて参りたいと思います。

#### \_調査会役員の参加する講演会等の予定

（公開の拉致問題に関するイベントのみ。救う会・家族会の役員と兼任の役員が参加する場合がありますが、調査会の🍏🍏として出席する場合のみ記載してあります）。

#### \_5月11日（日）大分集会（救う会大分主催）

\_大分市

\_代表荒木が参加

#### \_6月15日（日） 13:00～特定失踪者問題を考える市民集会（同集会実行委員会主催）

\_稚内市・稚内総合文化センター

\_専務理事真鍋が参加

\_問い合わせ： 加地隆夫実行委員長 （090-5954-4884）

#### \_6月28日（土） 13:30～拉致問題講演会（庄内ブルーリボンの会主催）

\_鶴岡市・中央公民館

\_代表荒木が参加

\_問い合わせ：佐藤忠智会長（090-7327\_1346）

#### \_6月28日（土）18:30～拉致問題講演会（庄内ブルーリボンの会主催）

\_酒田市・中央文化センター

\_代表荒木が参加

\_問い合わせ：佐藤忠智会長（090-7327\_1346）



\_<訂正>中央メーデーへの出店について

前号ニュースで記者会見の日付を訂正しましたが、その下に書いていたメーデーの日付がまた間違っていました。28日(金)としていましたが、26日(土)の間違いです。重ねてお詫びし、訂正いたします。

日時 4月26日(土) 10:00 ~ 14:30

場所 連合主催中央メーデー会場(代々木公園、山手線原宿駅・地下鉄千代田線明治神宮前駅下車)

\_北朝鮮工作員の使う水中スクーターの実物大模型(昨年12月の「しおかぜの集い」東京集会で展示したもの)を展示します。グッズ販売やチラシ配布も行います。よろしくお願ひします。

\_新ポスターまもなく登場

25日の記者会見でお目見えするポスター(No.10)はこれまでのポスターより一回り大きくなりますが、特に今回は可能な限<sup>り</sup>闊<sup>い</sup>真<sup>を</sup>を差し替えました。これは写真写りによって印象が大きく変わるため、情報を得るためにも従来のポスターと併用すれば効果が挙がるものと期待されています。比べていただくと、同じ人でも写真によって別人のように見えるのがおわかりいただけるはずです。従来同様1枚100円(送料調査会負担)で販売します。ぜひご利用下さい。

なおポスターの件のお問い合わせは担当の杉野常務理事までお願ひします。

\_調査会役員の参加する講演会等の予定

(公開の拉致問題に関するイベントのみ。救う会・家族会の役員と兼任の役員が参加する場合がありますが、調査会の役員として出席する場合のみ記載してあります)。

\_5月11日(日)大分集会(救う会大分主催)

\_大分市

\_代表荒木が参加



〒112-0004 東京都文京区後楽2-3-8 第6松屋ビル401

Tel 03-5684-5058 Fax 03-5684-5059

email: chosakai@circus.ocn.ne.jp

調査会ホームページ: <http://www.chosa-kai.jp>

戦略情報研究所ホームページ: <http://www.senryaku-jouhou.jp>

発行責任者 荒木和博 (送信を希望されない方、宛先の変更は

kumoha351@nifty.com 宛メールをお送り下さい)

\_資金カンパのご協力をよろしくお願ひします。

郵便振替口座 00160-9-583587 口座名義: 特定失踪者問題調査会

銀行口座 三菱東京UFJ銀行 鷹の台出張所 普通預 3810752

口座名義: 特定失踪者問題調査会 専務理事 真鍋貞樹

(銀行口座をご利用で領収書のご入用な場合はメールないしFAXにてご連絡願ひます)

MMMMMMMMMMMMMMMMMMMMMMMMMMMMMMMMMMMMMMMMMMMMMMMMMMMMMMMMMMMM

[調査会NEWS 620] (20. 4. 22)

\_定例記者会見

以下の通り定例記者会見を行います。なお、今回から場所が変わっていますのでご注意下さい。

1、日時 4月25日(金) 14:00~

2、場所 日本クリーニングセンタービル3F会議室

文京区後楽2-3-10 (調査会事務所の北側二つ目のビルです)

3、内容

0番台リスト1件発表 (関連地域・北海道)

新ポスターの件

「猫の目作戦」の現状について

国会の動きについて

他

\_中継について

会場の関係で今回から生中継ができなくなり、15:00(予定)からの録画中継になります。地方のマスコミの方々にはご迷惑をおかけしますがよろしくお願ひします。視聴方法はこれまでと同じく(株)Netliveのご協力でいきますので、同社のホームページをご覧下さい。

\_中央メーデーへの出店について

調査会では昨年に引き続き連合主催の中央メーデーに参加します。グッズ販売・水中スクーターレプリカの展示、ビラ配布等を行う予定です。メーデーにご参加の方、お近くの方はぜひお立寄り下さい。

日時 4月26日(土) 10:00 ~ 14:30

(註・上の日程は送信したニュースでは28日(金)となっていました但誤記でしたのでここでは修正してあります。

場所 連合主催中央メーデー会場(代々木公園、山手線原宿駅・地下鉄千代田線明治神宮前駅下車)

\_調査会役員の参加する講演会等の予定

(公開の拉致問題に関するイベントのみ。救う会・家族会の役員と兼任の役員が参加する場合がありますが、調査会の役員として出席する場合のみ記載してあります)。

\_5月11日(日) 大分集会(救う会大分主催)

\_大分市

\_代表荒木が参加

\_6月15日(日) 13:00~特定失踪者問題を考える市民集会(同集会実行委員会主催)

\_稚内市・稚内総合文化センター

\_専務理事真鍋が参加

\_問い合わせ: 加地隆夫実行委員長 (090-5954-4884)

\_6月28日(土) 13:30~拉致問題講演会(庄内ブルーリボンの会主催)

\_鶴岡市・中央公民館

\_代表荒木が参加

\_問い合わせ: 佐藤忠智会長 (090-7327\_1346)

\_6月28日(土) 18:30~拉致問題講演会(庄内ブルーリボンの会主催)

\_酒田市・中央文化センター

\_代表荒木が参加

\_問い合わせ: 佐藤忠智会長 (090-7327\_1346)

\_7月6日(日) 13:00~「北朝鮮による拉致・人権問題を考える神奈川県民集会」(救う会神奈川県主催)

\_横浜情報文化センター(みなとみらい線日本大通り駅前)

\_専務理事真鍋が参加

\_問い合わせ: 090(9816)2187又は [sukukai@kanagawa@hotmail.com](mailto:sukukai@kanagawa@hotmail.com)

\_8月24日(日) 14:00~「北朝鮮拉致問題を考える国民の集いイン富山」(富山県拉致議連・



夜の放送についても妨害電波が出ているので対応準備中です。決定しだいお知らせ致します。よろしくお願い申し上げます。

\_調査会参加する講演会等の予定

(公開の拉致問題に関するイベントのみ。救う会・家族会の役員と兼任の役員が参加する場合がありますが、調査会の役員として出席する場合のみ記載してあります)。

\_5月11日(日)大分集会(救う会大分主催)

\_大分市

\_代表荒木が参加

\_6月15日(日) 13:00~特定失踪者問題を考える市民集会(同集会実行委員会主催)

\_稚内市・稚内総合文化センター

\_専務理事真鍋が参加

\_問い合わせ: 加地隆夫実行委員長 (090-5954-4884)

\_6月28日(土) 13:30~拉致問題講演会(庄内ブルーリボンの会主催)

\_鶴岡市・中央公民館

\_代表荒木が参加

\_問い合わせ: 佐藤忠智会長 (090-7327\_1346)

\_6月28日(土) 18:30~拉致問題講演会(庄内ブルーリボンの会主催)

\_酒田市・中央文化センター

\_代表荒木が参加

\_問い合わせ: 佐藤忠智会長 (090-7327\_1346)

\_7月6日(日) 13:00~「北朝鮮による拉致・人権問題を考える神奈川県民集会」

(救う会神奈川主催)

\_横浜情報文化センター(みなとみらい線日本大通り駅前)



「猫の目作戦」で9日から朝の「しおかぜ」の周波数を変更しましたが、6日経った今日（15日）朝、新しい周波数に北朝鮮からの妨害電波がかけられました。通常妨害電波は新棚周波数設定後1週間程度でかけられていますが、今回もほぼそれに近いものです。いずれにしても妨害を受けるのは効果がある証拠なので、今後また変更する予定で準備を進めています。なお、夜の放送にも妨害はかかっており、こちらも近々対応する予定です。

#### 蓮池透氏の発言について

荒木和博

日本テレビの衛星放送「日テレNEWS 24」に13日、蓮池薫さんの兄である蓮池透さんが出演して「環境を整えば北朝鮮に行って拉致問題の真相を問いたしたい」と語りました。

透さんの発言を要約すれば、拉致問題は膠着状態にある。制裁は効いていない。制裁を続けるだけでは事態が打開できないので、北朝鮮の動きに応じて解除するなどして話し合いをするべきではないかといったようなことでしょうか。

「制裁を続けるだけでは進展しない」という点に限っては私も意見は同じです。私も可能であれば北朝鮮に乗り込みたいと思いますし、電波だろうがビラだろうがファックスだろうが、北朝鮮の中に手を突っ込めることはなんでもすべきと思います。塹壕に入っているだけでは負けることはなくても勝つことはできません。その点、私の意見は家族会や救う会の方針とは多少異なるかも知れません。

ただ、違うのは、「制裁を続けるだけでは進展しない」ので、「制裁以外のこともやる」か、「制裁をやめる」かの違いでしょう。蓮池さんは「制裁は効いていない。かえって末端が困っている」と言っていました。何か根拠があるのでしょうか。かえって、蓮池薫さんの兄がテレビで「制裁に効果はない。やめるべきだ」と言ったということは、北朝鮮への制裁が効果を上げていることの証拠だと思うのですが。

「労働新聞」などでも日本への攻撃の中でたびたび「経済制裁」の話が出てき

ます。総聯の国会前座り込みや申し入れなどもありました。20年前ならともかく、もはや実組織人員は5万人を切ったとも言われる朝鮮総聯にとって、工作活動ならともかく、日本の世論に逆らって大衆運動をやるのは楽なことではありません。経済制裁に効果がないならこんなことをする必要はありません。

また、蓮池透さんの条件が整えば北朝鮮に行きたいという発言ですが、すでに家族会の役員でもなく、副代表を辞任する前から家族会の活動にほとんど参加していない透さんが被害者家族の代表として行けるはずもありません。「真相を明らかに」と言っても、「どうなっているのか」と聞いて「実はこういうことです」と話でもすると思っているのでしょうか。北朝鮮がそういう相手かどうかは薫さんに聞いてみるといいでしょう。

もちろん、日本は北朝鮮や中国とは異なり民主主義の国ですから、透さん自身の思っていることをどんどん発言することは認められるべきですが、透さんが拉致問題の解決に役割を果たせるのは、薫さんに北朝鮮で見たことをもっと話させることではないかと思います。

#### \_調査会役員の参加する講演会等の予定

(公開の拉致問題に関するイベントのみ。救う会・家族会の役員と兼任の役員が参加する場合もありますが、調査会の役員として出席する場合のみ記載してあります)。

#### \_5月11日(日) 大分集会(救う会大分主催)

\_大分市

\_代表荒木が参加

#### \_6月15日(日) 13:00~特定失踪者問題を考える市民集会(同集会実行委員会主催)

\_稚内市・稚内総合文化センター

\_専務理事真鍋が参加

\_問い合わせ： 加地隆夫実行委員長 (090-5954-4884)

\_6月28日（土） 13：30～拉致問題講演会（庄内ブルーリボンの会主催）

\_鶴岡市・中央公民館

\_代表荒木が参加

\_問い合わせ：佐藤忠智会長（090-7327\_1346）

\_6月28日（土）18:30～拉致問題講演会（庄内ブルーリボンの会主催）

\_酒田市・中央文化センター

\_代表荒木が参加

\_問い合わせ：佐藤忠智会長（090-7327\_1346）

\_7月6日（日）13:00～「北朝鮮による拉致・人権問題を考える神奈川県民集会」  
（救う会神奈川主催）

\_横浜情報文化センター（みなとみらい線日本大通り駅前）

\_専務理事真鍋が参加

\_問い合わせ：090（9816）2187又は [sukukaikanagawa@hotmail.com](mailto:sukukaikanagawa@hotmail.com)

\_8月24日（日）14:00～「北朝鮮拉致問題を考える国民の集いイン富山」（富山  
県拉致議連・救う会主催）

\_富山市

\_代表荒木が参加

\_9月21日（日）「仙台集会」（救う会宮城主催）

\_仙台市

\_代表荒木が参加

MMMMMMMMMMMMMMMMMMMMMMMMMMMMMMMMMMMMMMMMMMMMMMMMMMMMMMMMMMMM

特定失踪者問題調査会ニュース

〒112-0004 東京都文京区後楽2-3-8 第6松屋ビル401

Tel 03-5684-5058 Fax 03-5684-5059

email: [chosakai@circus.ocn.ne.jp](mailto:chosakai@circus.ocn.ne.jp)

調査会ホームページ: <http://www.chosa-kai.jp>

戦略情報研究所ホームページ: <http://www.senryaku-jouhou.jp>







約1年間、表面的には動きの少なかった状態が続きましたが、いよいよ一つの山が近づいているのかなと感じています。3日、自民党の朝鮮半島問題小委員会で田中均・元外務審議官は「客観的な事実を解明、究明する仕組みを作るべきだ」と述べ、第三者機関を交えた調査団を設ける必要性を指摘したそうですが、そんな間怠っこいことではなく、このさい政府認定・未認定を問わず希望する家族、国会議員から地方議員からNGOから警察から自衛隊からマスコミから、あるいは社民党でも共産党でも、いや朝鮮総連でも何でもいいですから、とにかく調べに行きたい人が1000人とか2000人とか、大挙して押しかける調査団を出すべきではないでしょうか。

#### \_調査会役員の参加する講演会等の予定

(公開の拉致問題に関するイベントのみ。救う会・家族会の役員と兼任の役員が参加する場合がありますが、調査会の役員として出席する場合のみ記載してあります)。

#### \_5月11日(日) 大分集会(救う会大分主催)

\_大分市

\_代表荒木が参加

#### \_6月15日(日) 13:00~特定失踪者問題を考える市民集会(同集会実行委員会主催)

\_稚内市・稚内総合文化センター

\_専務理事真鍋が参加

\_問い合わせ: 加地隆夫実行委員長 (090-5954-4884)

#### \_6月28日(土) 13:30~拉致問題後援会(庄内ブルーリボンの会主催)

\_鶴岡市・中央公民館

\_代表荒木が参加

\_問い合わせ: 佐藤忠智会長 (090-7327\_1346)

#### \_7月6日(日) 13:00~「北朝鮮による拉致・人権問題を考える神奈川県民集会」 (救う会神奈川主催)



## 「軍事的報復」？

荒木和博

報道によれば、韓国の金泰栄合同参謀本部議長の発言に反発、北朝鮮は昨日（3日）南北対話の中断と軍事境界線（休戦ライン）の通過遮断を発表、さらに「軍事的報復を行う」とまで表明しました。

問題の発言とは3月26日、国会の人事聴聞会で金議長が発言したもので、「北朝鮮が小型の核兵器を開発し、韓国を攻撃してきた場合にはどう対応するのか」という質問に、「北朝鮮が核を保管していると思われる地域を確認して攻撃を行う」と答えたものです。

北朝鮮は金議長が「黙って核兵器が爆発するのを受け入れる」とでも言えば納得したのでしょうか。こういう対応になるのは、実は金議長の発言が問題なのではなく、北朝鮮側（少なくともその一部）に、交流を断絶せざるを得ない理由があるからです。

金大中・盧武鉉政権10年の太陽政策の最大の成果とは、北朝鮮の、特に支配階層をワイロ漬けにしてしまったことです。大きくは韓国政府が公然非公然に北朝鮮に提供したカネ、小さくは北朝鮮に進出する企業、出かけていった個人が<sup>▲</sup>サ地の担当者に渡すカネまで様々ですが、対南窓口である統一戦線部など、おそらくこの「蜜の味」から逃れることはできないでしょう。

しかし、その一方でこの恩恵にあまりあずかっていないところもあります。金正日の最大の支持基盤である軍などはその最たるもので、それどころか南北交流が進めば、緊張緩和となり、それは自らの権益を間違いなく侵害することになります。

また、北朝鮮の中には開放に対する恐怖感が存在します。これまでの歴史を見ても対話を進めているときには裏で何らかの工作活動を強化したり、挑発を行ったりしていますが、夜郎自大的な振る舞いの裏腹にある自信のなさが、この行動につながるのだと思います。

今、北朝鮮軍が作戦行動をしたとしても朝鮮戦争当時のような全面侵攻はできません。部分的に黄海での海軍の衝突とか、休戦ライン付近での小競り合いはあっても、全面戦のできる能力は朝鮮人民軍にはなく、期待するのは失うものを持ってしまった韓国が、それをわずかでも失う恐怖感から言うことを聞いてくれることしかないでしょう。

一方チベットの問題で神経過敏になっている中国は、北朝鮮に軍事挑発の兆候が見られれば、北朝鮮に軍事介入して傀儡政権を作ろうとする可能性もあります。58年前と異なり北朝鮮は国際的な支援は一切受けられません。韓国はどう対応するか分かりませんが、ブッシュ政権はさらにテロ支援国家指定解除から遠ざかり、日本も制裁を解除する理由はなくなりました（まあ、ミサイルが怖いから解除しようというのであれば別ですが）。

日本にとっては今が絶好のチャンスです。東アジア全体をリードして、拉致問題を解決し、北朝鮮の人々を圧政から解放できる好機を逃すべきではないと思います。与野党とも今の国会の状況には頭を痛めているのですから、この際気分転換も含めて、例えば福田総理と小沢代表が会談して「金平一氏（ポーランド大使、金正日の異母弟で長く事実上幽閉されてきた）を日本としては支持したい」とか、メッセージを出してみたらどうでしょう。

いずれにしても、少し色々な意味で動きが見えてきました。私たちもこのチャンスを逃さないようにしたいものです。

#### 調査会役員の参加する講演会等の予定

（公開の拉致問題に関するイベントのみ。救う会・家族会の役員と兼任の役員が参加する場合がありますが、調査会の役員として出席する場合のみ記載してあります）。

4月5日（土）13:30～ 講演会（拉致問題を考える牛久市民の会主催）

牛久市エスカード生涯学習センター（JR常磐線牛久駅西口 029-874-3131）

常務理事杉野が参加

問い合わせ：田中道治代表（029-872-6547）





というのはエイプリルフールの冗談で、本当は官房長官は

「拉致は重大な主権侵害でありますから、断固として国民を取り返すのが政府の使命であります。そのために政府としては拉致被害者の所在確認、救出のためあらゆる手段をもって取り組んでおり、絶対に実現することをお約束申し上げます。これは単に日本人拉致被害者を取り返すだけでなく、世界でも最も人権の蹂躪されている地域である北朝鮮において、そこに住む人々により人間らしい生活が営めるようにするためにも寄与するものであると考えます。政府としてはアジアにおける主導的国家として、国家主権及び普遍的人権を守るために努力をして参る所存です」

と答えました。と、言いたいところですが、前に上げたのが事実で、平成17年6月、参議院内閣委員会における本当の答弁です。後の方がエイプリルフールの作り話です。

ついでに言えば、質問をしているのは民主党の森ゆうこ参議院議員なのですが、森議員及び民主党も、この答弁をその後問題にするわけではありませんでした。政府の姿勢はこの後安倍政権になり、今は福田政権ですが、基本的には変わっていません。

今、国会はガソリン税暫定税率の問題で延々と時間を浪費（としか思えない）していますが、ものには優先順位があるのではないのでしょうか。拉致でなくても、例えばチベットでは多数のチベット人が虐殺されており、それをしている中国政府に多額の経済支援をしてきたのは我が国なのです。民主党も問題にするならそちらをすべきではないのでしょうか。

見ていると、1年のうち364日（今年は閏年だから365日）がエイプリルフールのようにすら見えてきます。それならせめて今日一日でも真面目な議論をしてもらいたいのですが。多くのまともな国会議員は与野党を含め、このままで良いとは誰も思っていないのですから。

\_戦略情報研究所講演会<本日>

戦略情報研究所では本日以下の講演会を開催します。

- 1、日程 4月1日（火） 18:30～20:30
- 2、場所 UIゼンセン会館2階会議室（千代田区九段南4-8-16 tel03-3288-3549）  
\_市ヶ谷駅下車3分
- 3、講師 ペマ・ギャルポ 桐蔭横浜大学教授
- 4、テーマ 「チベットは今—どうなっているのか、私たちは、日本は何をすべきか」
- 5、参加費 2000円（戦略情報研究所会員は無料）
- 6、ネット中継 これまでと同様講演会の当初1時間をインターネットで生中継します。地方の方で出席できない等の場合はインターネットでご覧下さい。中継は下記のネットライブのサイトから  
<http://www.netlive.ne.jp/>

#### \_参考情報

以下、三浦小太郎・守る会代表及び小川晴久・同会名誉共同代表からのご案内です。

---

#### NO FENCE IN NORTH KOREA 発足記念集会

北朝鮮による「強制収容所」をなくすため、多くの人々に呼びかける運動を始めます

私たちは、北朝鮮（朝鮮民主主義人民共和国）の山の中にある強制収容所を、一日も早く廃絶させるために、国内や世界に向けて、そのメッセージを発信してこうと、「NO FENCE IN NORTH KOREA」（通称 NO FENCE）を発足させます。どうぞ皆様のご参加をお待ちしています。取材も是非お願いします。

ご挨拶とご説明；（NO FENCE 共同代表）

小沢木里（総合いのち研究所主宰）

砂川昌順（「極秘指令」著者）

発足記念集会

日時 4月13日(日) 9時半開場 10時開会 16時20分閉会

午前の部 発会報告

午後の部 記念講演

講演者 申ドンヒョク(「収容所で生まれた僕は愛を知らない」著者)

金泰振(北韓政治犯収容所解体運動本部代表)

姜哲煥(「北朝鮮脱出」著者)

安明哲(「北朝鮮絶望収容所」著者)

場所 星陵会館ホール <http://www.seiryokai.org/kaikan.html>

参加費 一般1000円 学生500円

ネット・ライブによる同時中継があります

<http://www.netlive.ne.jp>

主催 NO FENCE IN NORTH KOREA(北朝鮮強制収容所をなくすアクションの会)

連絡先 〒102\_0093 千代田区平河町1\_5\_7\_203

電話&ファックス 03\_3262\_7473

\_調査会役員の参加する講演会等の予定

(公開の拉致問題に関するイベントのみ。救う会・家族会の役員と兼任の役員が参加する場合がありますが、調査会の役員として出席する場合のみ記載してあります)。

\_4月5日(土) 13:30~ 講演会(拉致問題を考える牛久市民の会主催)

\_牛久市エスカード生涯学習センター(JR常磐線牛久駅西口 029-874-3131)

\_常務理事杉野が参加

\_問い合わせ: 田中道治代表(029-872-6547)

\_5月11日(日) 大分集会(救う会大分主催)

\_大分市

\_代表荒木が参加



